

令和6年10月11日開催
調 査

経済福祉常任委員会資料

○調査事件7 福島町社会福祉協議会の運営状況について

町 民 課

調査事件 7 福島町社会福祉協議会の運営状況について

1 社会福祉協議会に対する支援について

町では、福島町社会福祉協議会の経営健全化計画を支援するため、令和2年度から社会福祉協議会の基盤となる法人運営事業に対し、財源不足相当分の支援として9百万円の補助を行ってきました。

また、令和6年度からは7百万円の補助とし、新たに同協議会へ人的支援として職員（事務局長職）を派遣しております。

法人においても、財政状況の改善策として、増収対策の強化及び経費節減を図りながら経営健全化に努めておりますが、法人の本来的な役割として、地域の社会福祉活動の推進、向上を目的としており、行政の福祉活動の補完的役割を担う重要な組織であり、将来的に事業運営を継続維持する観点から安定的な財政運営が必要となっております。

2 令和5年度決算の状況について

社会福祉協議会の経営体系は、法人運営事業及び町受託事業並びに介護保険事業の3本の事業で構成されており、令和5年度の決算状況は、以下の表のとおりです。

なお、収支の内訳につきましては、別冊「令和5年度福島町社会福祉協議会決算書」に記載しております。

（1）法人運営事業

社会福祉協議会の本来業務である法人運営事業では、千軒地区デマンド型交通運行事業の開始や、人件費の増加に伴い事業費は増加しておりますが、前年度に引き続き1,302千円の黒字を計上しております。

（単位：千円）

区 分		令和5年度	令和4年度	増 減
法人運営	収 入	15,210	12,333	2,877
	支 出	13,908	9,924	3,984
	差 額	1,302	2,409	▲ 1,107

（2）町受託事業

（単位：千円）

区 分		令和5年度	令和4年度	増 減
福祉センター 管理事業	収 入	6,488	6,454	34
	支 出	5,867	6,401	▲ 534
	差 額	621	53	568
安心生活 創造事業	収 入	5,651	5,651	0
	支 出	4,857	5,437	▲ 580
	差 額	794	214	580
合 計	収 入	12,139	12,105	34
	支 出	10,724	11,838	▲ 1,114
	差 額	1,415	267	1,148

(3) 介護保険事業

介護保険事業全般においては、利用者の施設入所や逝去に伴う減少が多かった事や、現在の利用者においても、介護度の低い方が大部分を占めているため、介護報酬が前年度と比較して減収となっております。

また、職員の退職等により支出額が前年度より減少した事によって黒字を計上しております。

(単位：千円)

区 分		令和 5 年度	令和 4 年度	増 減
訪問介護事業	収 入	19,808	22,265	▲ 2,457
	支 出	16,547	19,310	▲ 2,763
	差 額	3,261	2,955	306
訪問入浴 介護事業	収 入	3,889	4,900	▲ 1,011
	支 出	3,889	4,279	▲ 390
	差 額	0	621	▲ 621
居宅介護 支援事業	収 入	4,373	5,594	▲ 1,221
	支 出	4,518	6,820	▲ 2,302
	差 額	▲ 145	▲ 1,226	1,081
合 計	収 入	28,070	32,759	▲ 4,689
	支 出	24,954	30,409	▲ 5,455
	差 額	3,116	2,350	766

3 積立金の状況について

当法人の積立金の状況は、町の支援と協議会の自助努力の効果もあり、令和5年度は固定資産取得積立金に445千円、財政調整基金に1,000千円を積み立てしております。

(単位：千円)

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	増 減
基 本 財 産	1,000	1,000	0
固定資産取得積立金	2,693	2,248	445
職 員 退 職 積 立 金	1,959	1,959	0
財 政 調 整 基 金	8,193	7,193	1,000
合 計	13,845	12,400	1,445

4 経営健全化計画との比較について

社会福祉協議会では経営の健全化を図る目的で、経営健全化計画を策定しており、令和5年度計画額との比較では、全体で8,823千円の増となっており、経営の改善が図られております。

なお、各事業の対比につきましては、次の表のとおりです。

(単位：千円)

区 分		令和5年度		増 減
		経営健全化 計 画 額	決 算 額	
法人運営	収 入	10,400	15,210	4,810
	支 出	11,650	13,908	2,258
	差 額	▲ 1,250	1,302	2,552
福祉センター 管理事業	収 入	5,937	6,488	551
	支 出	5,937	5,867	▲ 70
	差 額	0	621	621
安心生活 創造事業	収 入	5,150	5,651	501
	支 出	5,100	4,857	▲ 243
	差 額	50	794	744
訪問介護事業	収 入	24,000	19,808	▲ 4,192
	支 出	24,200	16,547	▲ 7,653
	差 額	▲ 200	3,261	3,461
訪問入浴 介護事業	収 入	7,710	3,889	▲ 3,821
	支 出	7,500	3,889	▲ 3,611
	差 額	210	0	▲ 210
居宅介護 支援事業	収 入	6,000	4,373	▲ 1,627
	支 出	7,800	4,518	▲ 3,282
	差 額	▲ 1,800	▲ 145	1,655
合 計	収 入	59,197	55,419	▲ 3,778
	支 出	62,187	49,586	▲ 12,601
	差 額	▲ 2,990	5,833	8,823

5 経営健全化に向けた取り組みについて

経営健全化計画に基づき、経費節減、増収対策の強化などを行い、経営の改善が図られております。また、自主財源確保に向けた対策として、賛助会員の加入拡大に向けた募集活動の結果、令和5年度は加入者が増加しておりますので、今後も継続実施してまいります。

6 町の今後の支援の在り方について

社会福祉協議会は、「ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくり」を組織理念に掲げ、社会福祉活動を推進する法人として大切な役割を担っており、地域に欠かすことのできない組織です。

町では、福祉のまちづくりにおける福祉サービスや相談活動など、様々な場面で地域福祉の一翼を担っている本法人の継続的維持が重要と考えております。

社会福祉協議会の存続が地域福祉の向上に寄与するものであり、今後も継続的に現行の補助体系を維持し、次年度以降も法人運営事業に対して、現行の補助金を継続してまいります。